TOTO

フロアキャビネット施工説明書

製品の機能が十分発揮されるように、この施工説明書の内容にそって正しく取付けてください。

☆安全上の注意

- 取付前に、この「安全上の注意」をよくお読みの上、正しく取付けてください。
- この説明書では、商品を安全に正しく取付けていただくために、必ずお守りいただくことを、お知らせしています。
  使用者や他の人々への危害や物的損害を未然に防止するために、必ずお守りください。

表　示	意　味
⚠ 警告	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、死亡または重傷などを負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠ 注意	この表示の欄の内容を無視して誤った取付けをすると、傷害または物的損害が発生する可能性が想定される内容を示しています。

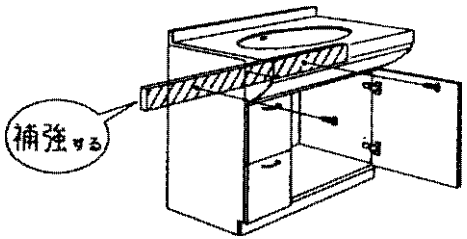
■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

🛇	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。

⚠ 警告

壁固定ねじ取付位置に桟を入れて補強してください

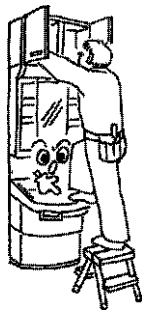
キャビネットが転倒しケガをするおそれがあります。



⚠ 注意

カウンター・洗面器の上に乗らないでください

故障及び転落・転倒してケガの原因になります。

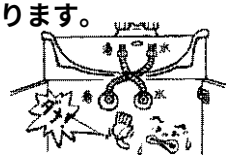


- 本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、取付工事完了後、引き渡し時にお客様にお渡しください。

⚠ 注意

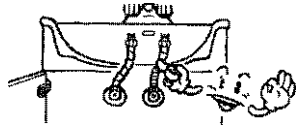
湯・水を逆に配管しないでください

水側でいきなり湯が出て、火傷をするおそれがあります。



凍結のおそれがある地域では、必ず凍結防止工事を行ってください

凍結破損で漏水し家財等に損害を与えるおそれがあります。

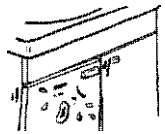


工事完了後、給排水管から漏水がないことを必ず確認してください

工事完了後、キャビネットの固定・扉の傾き・ガタツキ・丁番のゆるみがないかを必ず確認してください

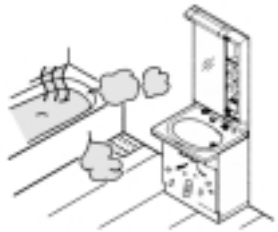
漏水を起こすと、家財等に損害を与えるおそれがあります。

使用中にキャビネット・扉が落下してケガをする原因になります。



浴室など湿気の多い場所へ設置しないでください

木部が膨潤するおそれがあります。

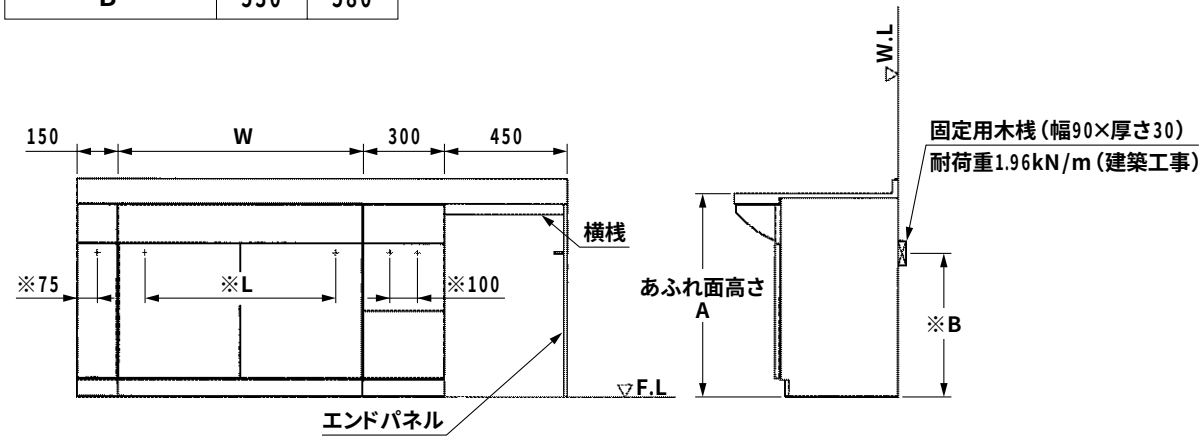


☆工事寸法

- 特殊品の場合の工事寸法は、承認図を確認してください。
- ※印の寸法は木ねじ位置を示します。

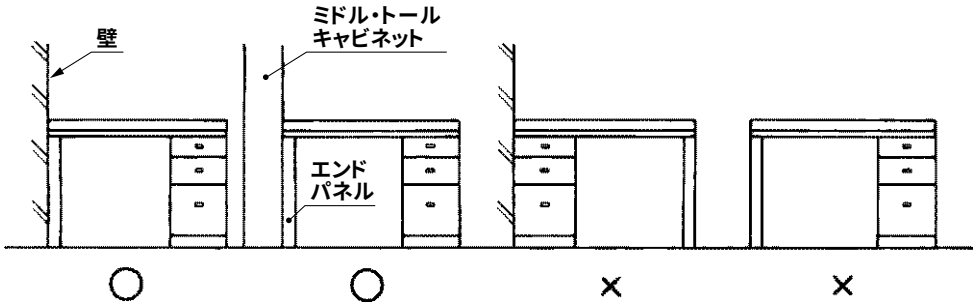
W	450	750	800	850	900	1000	1200
L	250	550	600	650	700	800	1000

あふれ面高さA	750	800
B	530	580



☆設置上の注意

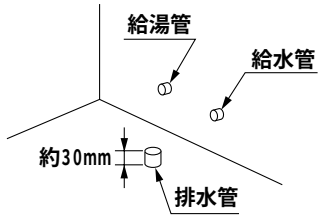
- 湿気の多い場所では、木部が膨潤するおそれがありますので設置しないでください。
  特に浴室内には、設置しないでください。
- 直射日光にさらされる場合は必ずカーテンなどでさえぎってください。
- エンドパネルは下図のように壁側又はミドル・トールキャビネット側に取付けてください。



☆取付前の準備

- キャビネットの壁固定部分には、壁面に固定用木棋を入れてください。
  （壁面に固定用木棋が取付けられない場合は、前面に厚み12mm以上の板を強固に取付てください。）
- 給水・給湯管・配水管を所定の位置に取出してください。

〈床排水トラップの場合〉
仕上げ面より約30mm立上げてください。
（排水管はVU40・VU50または、VP40・VP50をご使用ください。）



☆付属部品明細

LBJ150～1200E1・2（フロアキャビネット）LFJ17EB1・2（エンドパネル）
LFJ1100EN（横桟）

● フロアキャビネット

	フロアキャビネット							洗面器用フロアキャビネット	
	150サイズ		300サイズ	450サイズ			600サイズ	750～1200サイズ	750～1200サイズ
	ML01タイプ	ML05タイプ	扉・引出タイプ	扉・引出タイプ	脱衣カゴタイプ	ワゴンタイプ	スツールタイプ	ML01（ラウンドタイプ）	ML05（ストレートタイプ）
壁固定用木ねじ　（φ4.5×50）	1本	1本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本
連結用木ねじ　（φ3.1×25）	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本	2本
上下連結用木ねじ（φ4.5×16）	2本	2本	4本	4本	4本	6本	4本	—	—
カウンター固定用木ねじ（φ4.5×16）	—	—	—	—	—	—	—	4本	4本
カウンター固定金具	—	—	—	—	—	—	—	2個	2個
仕切板	2個	3個	—	—	—	—	—	—	—
固定金具	—	—	2個	2個	2個	4個	2個	—	—
床固定用木ねじ　（φ4.5×35）	—	—	—	—	—	2本	—	—	—
床固定金具用化粧ねじ（φ5×25）	—	—	—	—	—	—	4本	—	—
床固定金具用木ねじ（φ4.5×16）	—	—	—	—	—	—	4本	—	—
床固定金具	—	—	—	—	—	—	2個	—	—
化粧キャップ	—	—	—	—	—	—	2個	—	—
給水ふた	—	—	—	—	—	—	—	2個	2個
排水ふた	—	—	—	—	—	—	—	1個	1個
防臭栓	—	—	—	—	—	—	—	1個	1個
ふた用木ねじ　（φ3×12）	—	—	—	—	—	—	—	7本	7本
幕板カバー	—	—	—	—	—	—	—	1個	—
幕板カバー固定ねじ（φ3×16）	—	—	—	—	—	—	—	5本	—
すき間パッキン	—	—	—	—	—	—	—	1個	1個
取扱説明書（保証書付）	—	—	—	—	—	—	—	1冊	1冊

● エンドパネル

名　称	数　量
固定金具（壁／カウンター）	2個
床固定金具	1個
固定金具用木ねじ（φ4.5×16）	3本
床固定金具用化粧木ねじ（φ4.5×16）	2本
床固定金具用化粧木ねじ（φ5×25）	3本

● 横桟

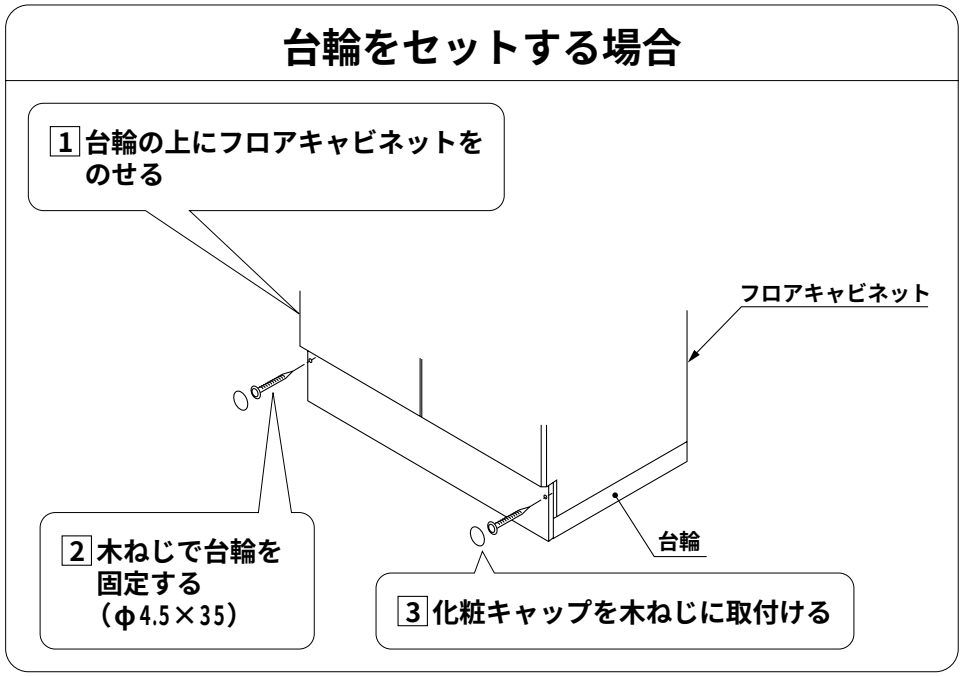
名　称	数　量
横桟固定金具	2個
固定金具用木ねじ（φ4.5×16）	4本

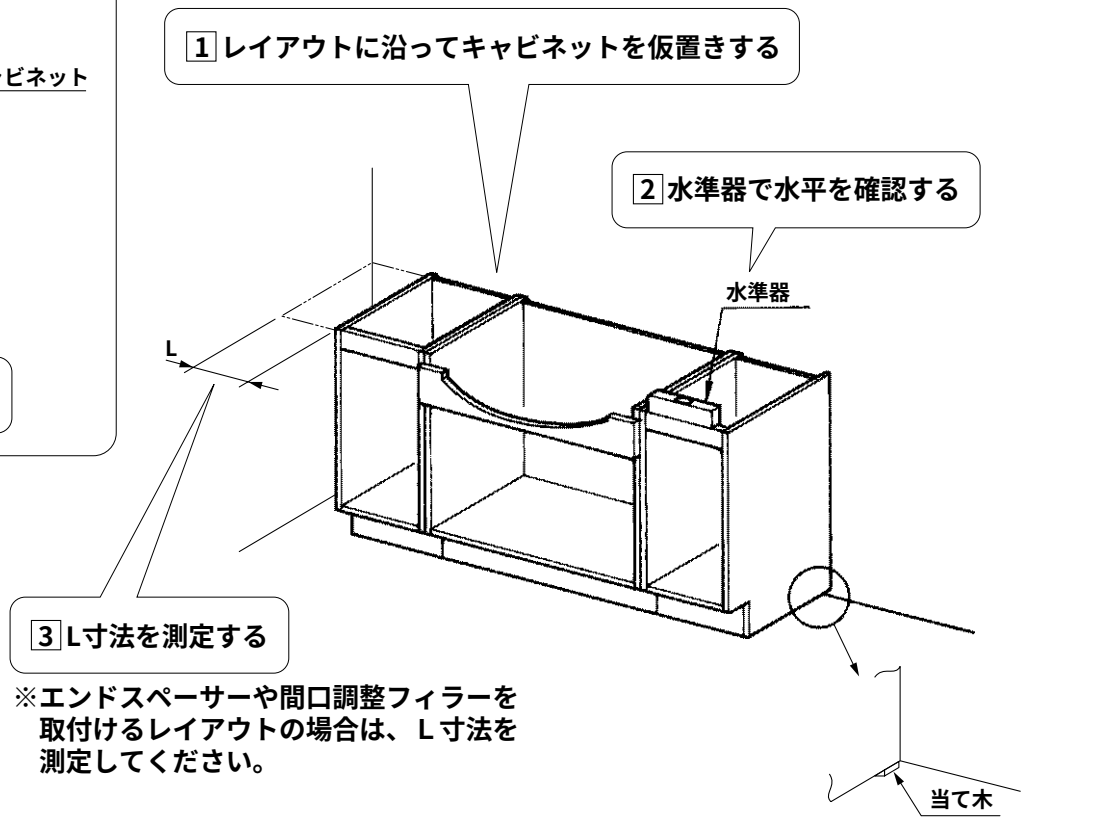
☆フロアキャビネット取付手順 （番号順に取付けてください。）

①キャビネットの仮置き

● カウンター高さ800の場合は先に台輪をセットしてください。

台輪をセットする場合



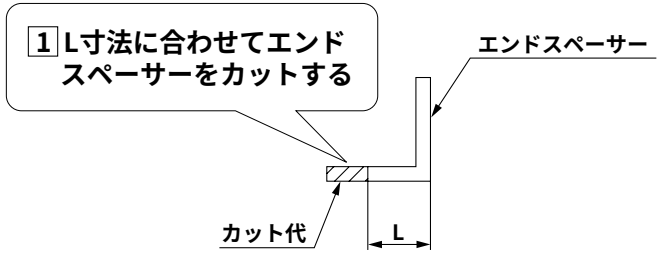


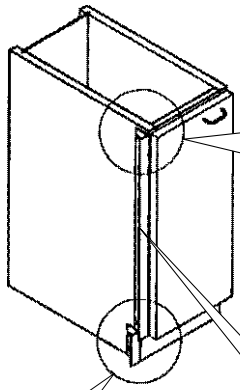
※エンドスペーサーや間口調整フィラーを取付けるレイアウトの場合は、L寸法を測定してください。

※水平でない場合は、当て木をして水平になるように調節してください。

②エンドスペーサーの取付け（別売品）

※レイアウトによりエンドスペーサーが必要な場合は、次の要領でエンドスペーサーを取付けてください。
〈フロアキャビネット用エンドスペーサー……LEJ30B〉
※木ねじで固定する時は、下穴を設けてください。
※エンドスペーサーは、カッターまたは万能バサミでカットできます。また、対応寸法は5～30mmです。

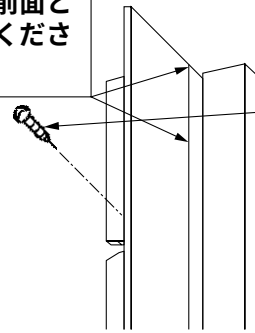




3 上部スペーサーの取付け

3-1
キャビネットの上面及び前面と合わせてください

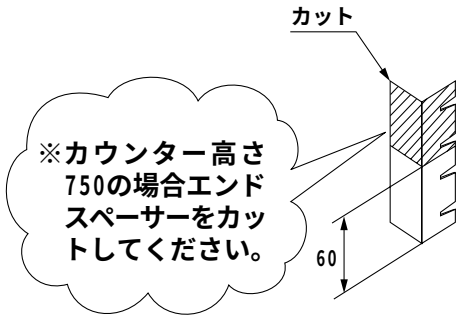
3-2
木ねじ（3本）で固定する（φ3.5×16）



※木ねじはエンドスペーサーが着脱できる高さにねじ込み代を調節してください。

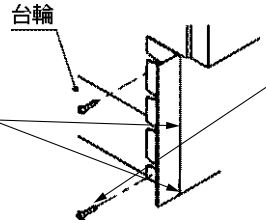
4 木ねじの調節が終わったら、エンドスペーサーを取外してください

2 下部スペーサーの取付け



※カウンター高さ750の場合エンドスペーサーをカットしてください。

2-1
台輪の前面及び下面と合わせてください

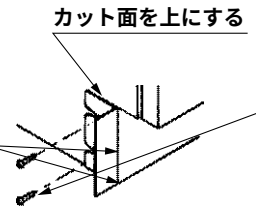


2-2
木ねじ（2本）で固定する（φ3.5×16）

※木ねじはエンドスペーサーが着脱できる高さにねじ込み代を調節してください。

（台輪がつく場合）

2-1
蹴込板の前面及び下面と合わせてください

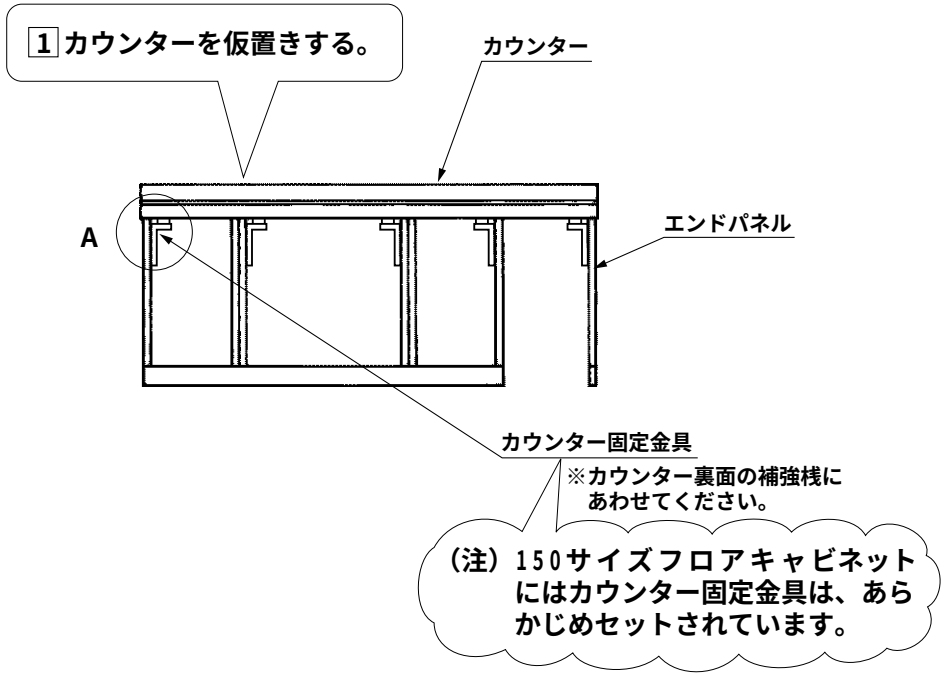


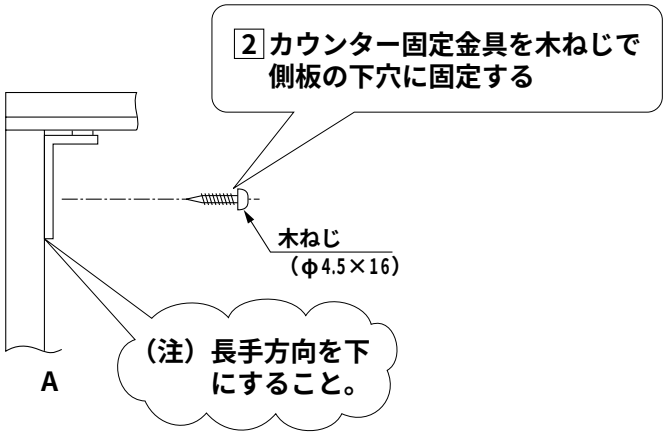
2-2
木ねじ（2本）で固定する（φ3.5×16）

※木ねじはエンドスペーサーが着脱できる高さにねじ込み代を調節してください。

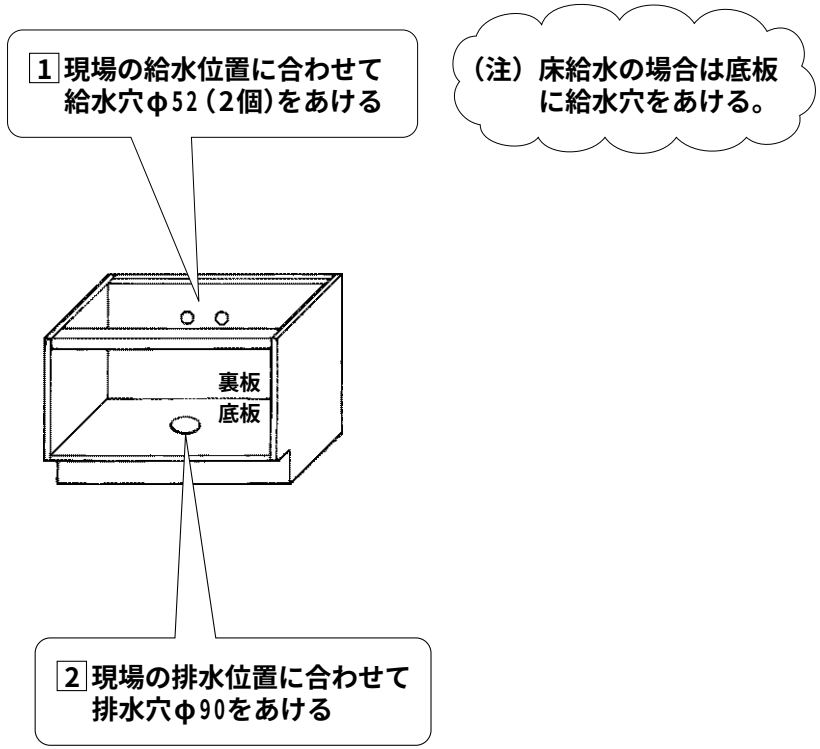
（台輪がつかない場合）

③カウンター固定金具の取付け



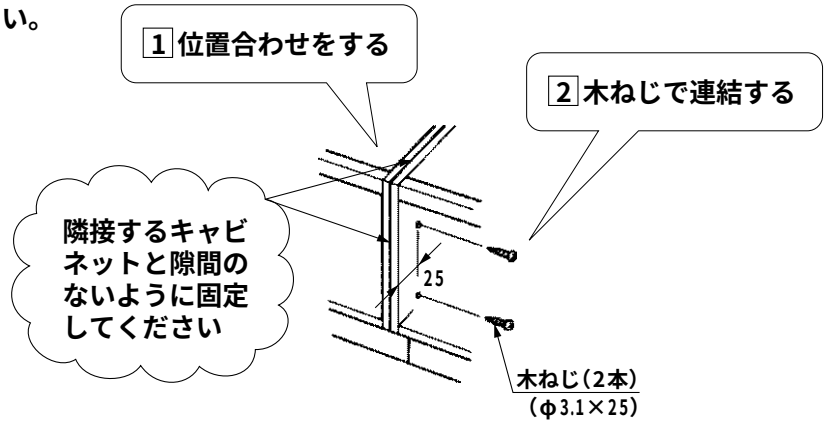


④洗面器用フロアキャビネットの給・排水穴あけ



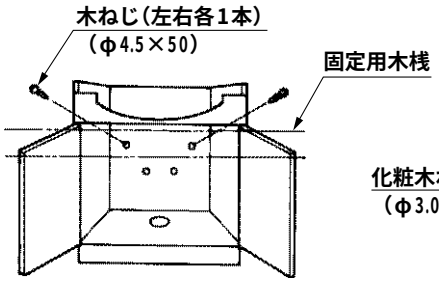
⑤キャビネットの取付け

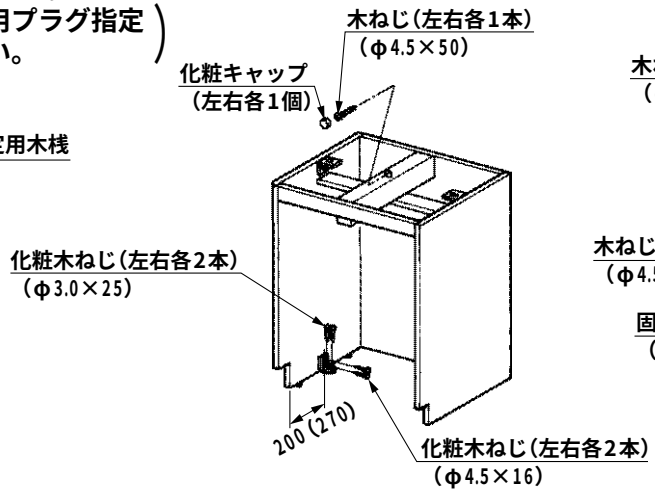
※木ねじで固定する時は、下穴を設けてください。



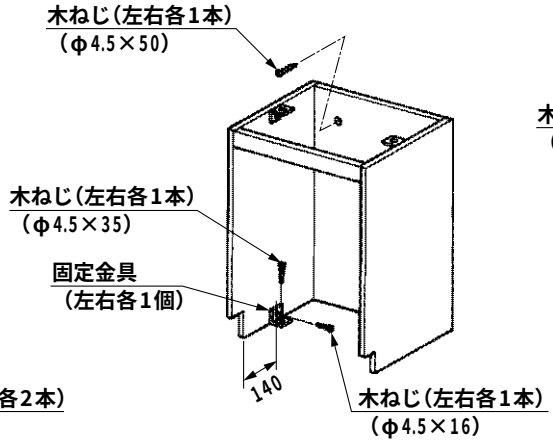
3 木ねじで壁固定する。

※タイル・コンクリート壁の場合は、現物にあわせて木ねじ位置に下穴をあけ木ねじ用プラグを打込んでおいてください。
（プラグ用の下穴は必ずご使用プラグ指定のドリル径であけてください。）

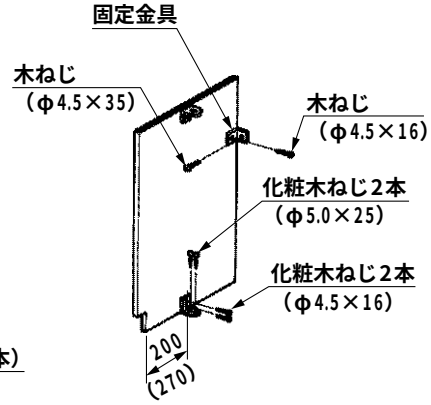




〈スツール用キャビネットの場合〉



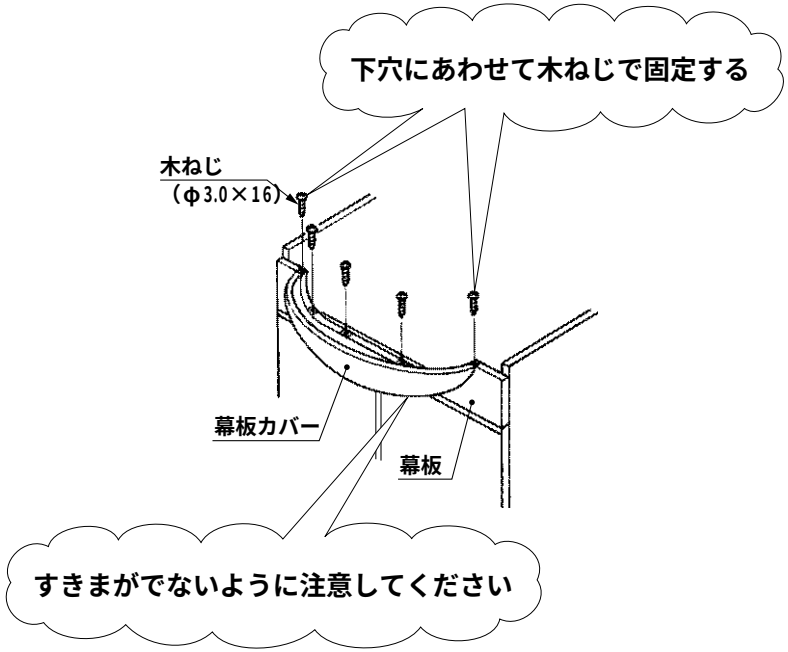
〈ワゴンキャビネットの場合〉



〈エンドパネルの場合〉

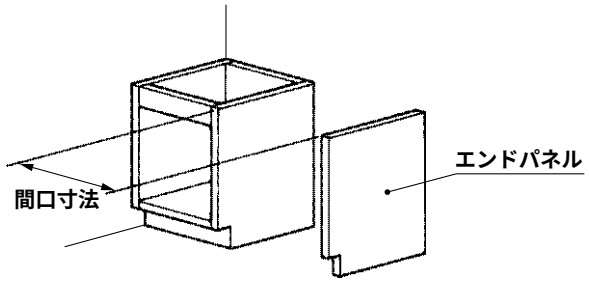
※（　）寸法の取付位置は、ML05（ストレート）タイプを示す。

⑥幕板カバーの取付け（ML01タイプのみ）

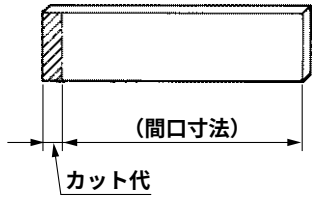


⑦横桟のカット

● 横桟を取付けるフロアキャビネット間の間口寸法を測定してください。



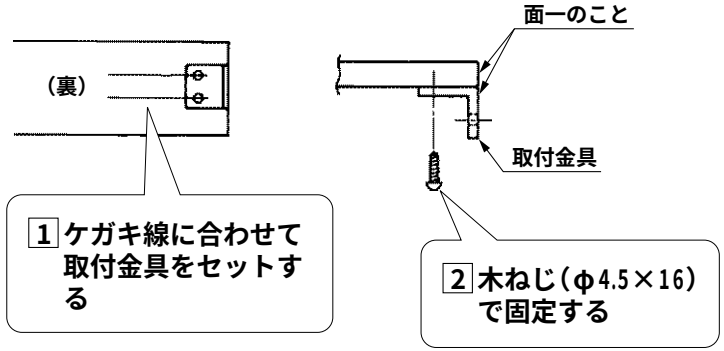
● 間口寸法に合わせて横桟をカットしてください。

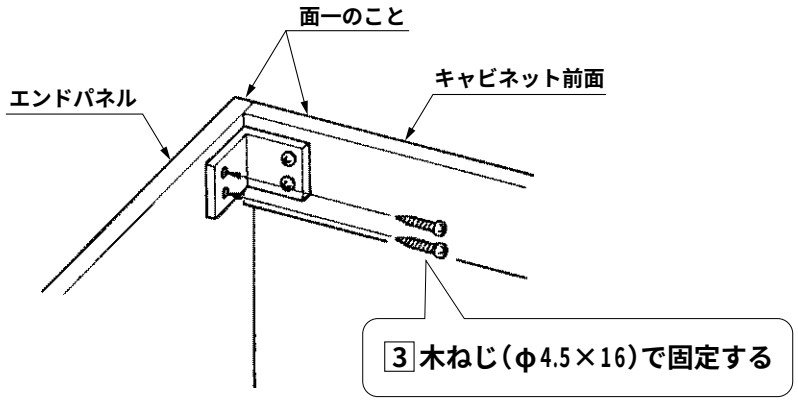


裏面に続く

⑧横桟の取付け

※木ねじで固定する時は、下穴を設けてください。





⑨排水金具の取付け

- 排水金具の取付けについては、排水金具に同梱されている「施工説明書」をご参照ください。

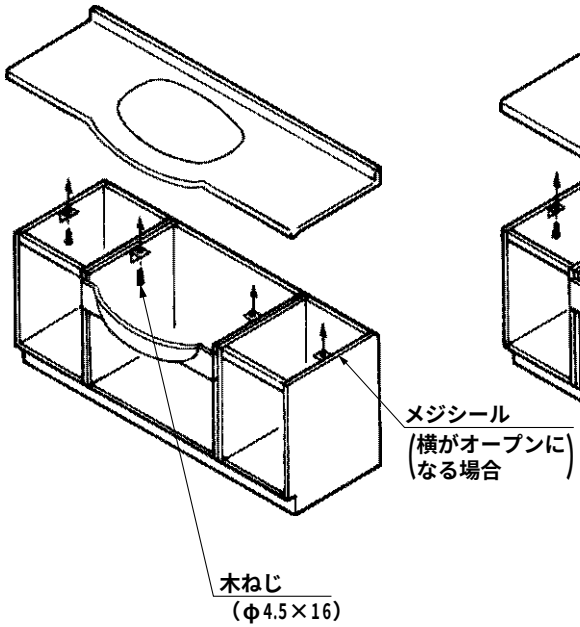
⑩洗面器の取付け

- 洗面器の取付けについては、カウンターに同梱されている「施工説明書」をご参照ください。

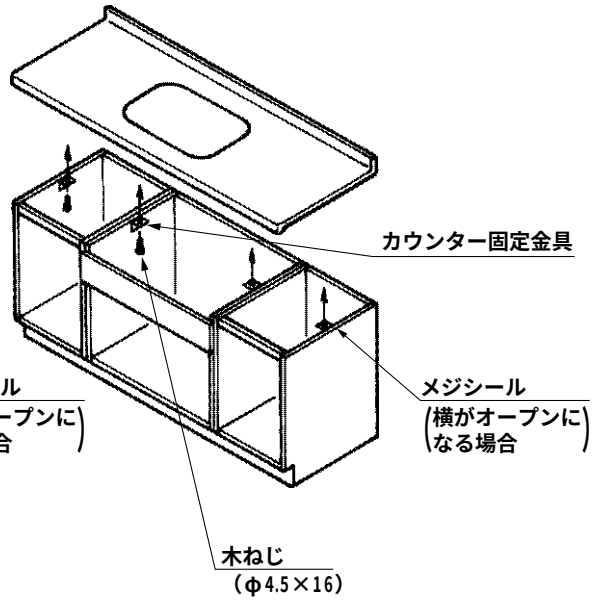
⑪カウンターの取付け

- カウンターの横がオープンになる場合は側板の上部にメジシール（YG902S）を塗布後、カウンターをのせてください。
- カウンターを設置し、フロアキャビネット内側から木ねじ（フロアキャビネットに付属しています）で固定してください。
  （ニースペース板もセットされる場合には、ニースペース板の取付けが、完了してからカウンターを取付けてください。）
- 連結板がつく場合は、支持金具をカウンターと壁の間に差込んでカウンターを固定してください。

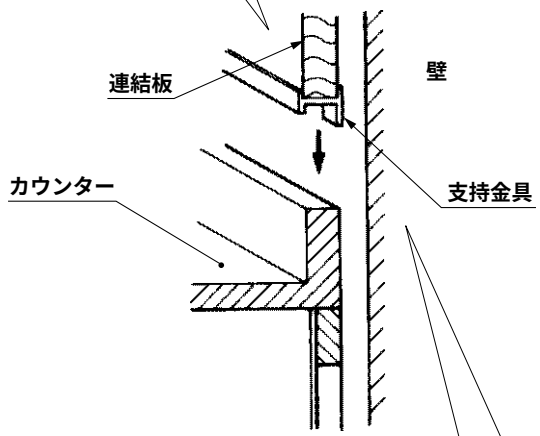
ML01タイプ



ML05タイプ



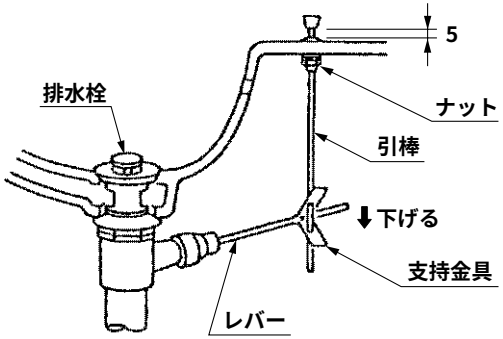
（注）カウンターの上に連結板がつくレイアウトの時は、カウンターを固定する前に連結板を固定してください。



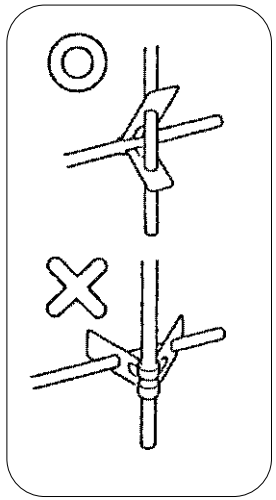
（注）支持金具をカウンターと壁の間に差込む際カウンターを傷つけないように注意してください。

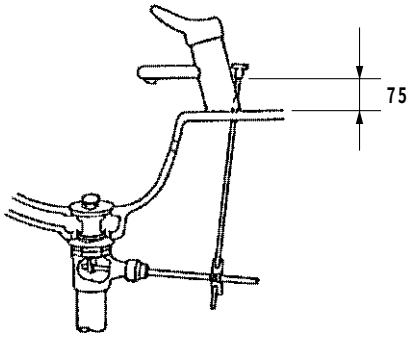
⑫ポップアップ引棒の取付け

- レバーを下側いっぱいに下げ、引棒を図のように接続してください。
  又、引棒を上下に作動させた時排水栓がスムーズに動くか確認してください。
- ナットを確実に締めてください。



（シャンプータイプ）

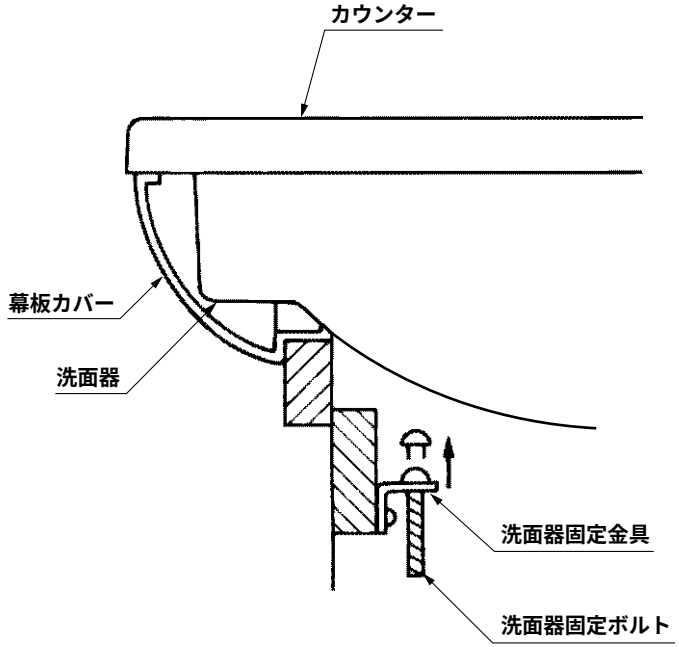




（吐水口回転タイプ）

⑬洗面器固定ボルトの調節（ML01タイプのみ）

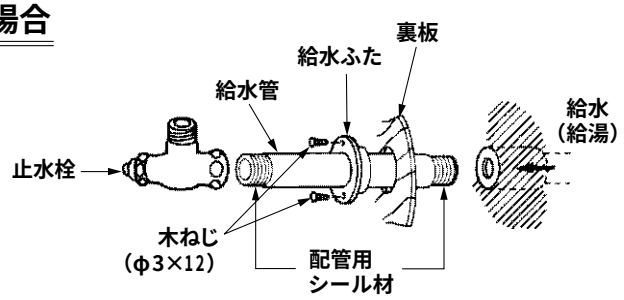
- カウンターを設置した後、洗面器固定ボルトを⊕ドライバーを押し上げ洗面器に軽く当たるように調節してください。



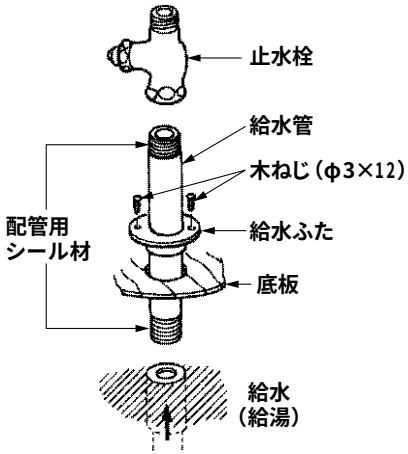
⑭止水栓の取付け

- 止水栓は工具で十分に締付けてください。

壁給水の場合



床給水の場合

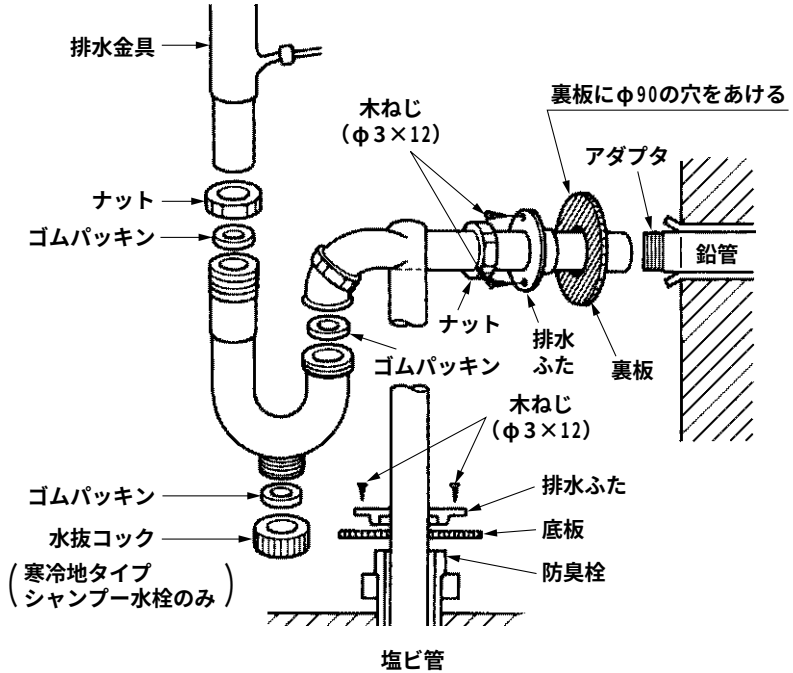


⑮水栓金具の取付け

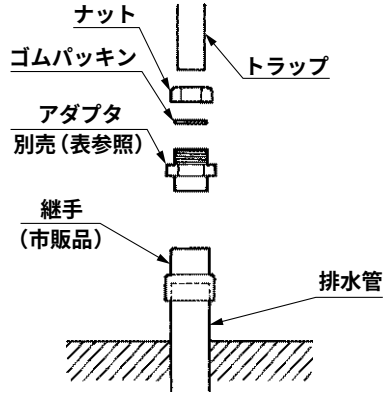
- 水栓金具の取付けについては、水栓金具に同梱されている施工説明書をご参照ください。

⑯排水トラップの取付け

- 床排水トラップの場合は、排水管に防臭栓をはめてトラップを差込んでください。
- 集合住宅、高層住宅の場合、排水管とトラップを別売のアダプタ（下表）で確実に接合してください。



〈樹脂製排水トラップの場合〉



〈アダプタ接続の場合〉

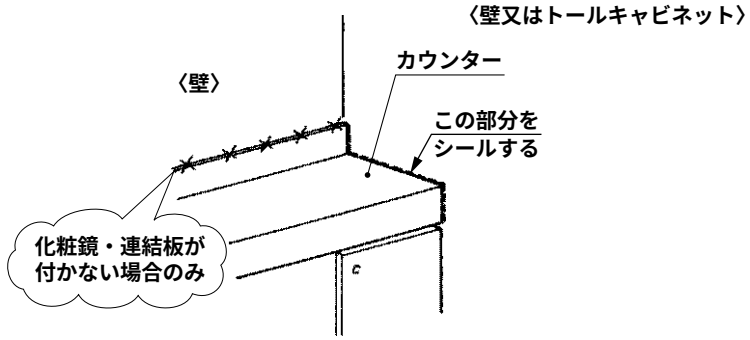
アダプタの種類	サイズ
T1122　(鋼管用)	R1 1/4
T1122J (塩ビ管用)	30用
T1122T (塩ビ管用)	40用

⑰水受けトレイの取付け（シャンプータイプのみ）

- 水受けトレイは、水栓金具の説明書及びラベル等を見て取付けてください。

⑱壁やトールキャビネットとの処理方法

- カウンターと壁の突合わせ部をメジシール（YG902S）にてシールしてください。



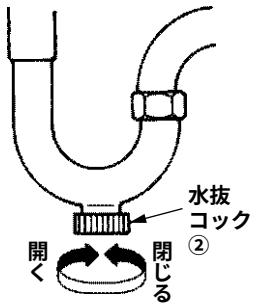
☆寒冷地タイプの水抜方法

- 寒冷地タイプの場合は器具内の水を抜くため、水抜コックを設けております。
  凍結のおそれのある時期に施工された場合は、別途設備された水抜栓の操作と合わせて次の要領で水抜きをしておいてください。
  また、お客様にも水抜方法をご指導ください。

〈水抜き手順〉

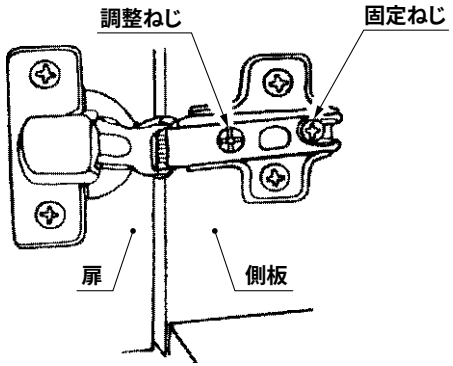
①水栓金具の水抜き（水栓金具に同梱の施工説明書をご参照ください。）
②排水トラップの水抜コックを開いてください。
※水抜き後は、必ず水抜コックを強く締めてください。

樹脂製排水トラップの場合



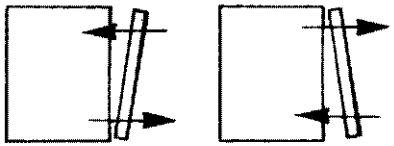
☆扉の調整方法

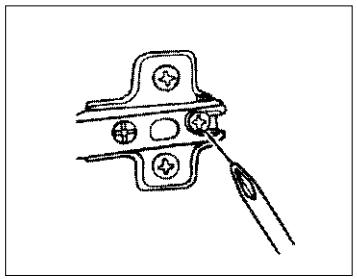
■各部の名称



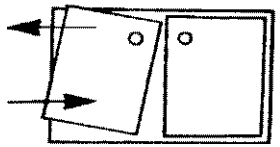
■扉の調整方法

①扉の前後調整
固定ねじをゆるめて前後調整した後、
固定ねじを締めてください。

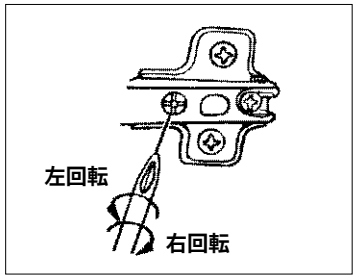




②扉の左右調整
調整ねじを回して、左右の傾きを調整
してください。



図のような場合
上は左回し
下は右回し



- 調整後は、固定ねじにゆるみがないか
確認してください。

☆取付完了後の確認と清掃

- 通水し、配管接続部に水漏れがないことを確認してください。
- キャビネットが壁に完全に固定されているか確認してください。
- 製品についた汚れ（プラスチック部品の静電気による黒い汚れを含む）は、ぬれた布をかたくしぼってふき取ってください。その後、水を湿らせた布に少量の中性洗剤をつけてふき上げ、最後にからぶきしてください。
シンナー・ベンジンなどの使用は表面の変色・変質させますので、絶対に使用しないでください。